

修了式「卒業」 3 / 24

今日は令和2年度の最後の登校日です。今、ここに、こうして全校のみなさんが、きりっとした姿勢で、立派に集まることができて、本当に、うれしく思います。

今年度は、コロナの影響で、今までとは違う1年間でした。「今までとは違う」というのは、今までできていたことができなくなったと考えるのではなく、「今までとは違う新しいことができるようになった」と考えることが大切です。4月から2ヶ月ものお休みから始まりましたが、今まで以上に充実した学校生活になりました。

今日お配りする校長だよりには、今年度、みなさんが新しく取り組み始めたことが36個も載っています。

例えば、運動会は中止になりましたが、体育の授業発表ということで、低学年・中学年・高学年のまとまりで、新しい表現活動をしました。これまでにない新鮮な取組でしたね。

例えば、3年生以上は、総合的な学習の時間に、コロナと共に生きていく、これらかの未来について様々な角度から考えました。新しい社会を創っていくのは、みなさん自身にほかならないからです。

例えば、3月になって1人1台のパソコンが配られました。1年生や2年生も、自分でIDとパスワードを入力することができました。もう一度パソコンを開くと、画面に自分の名前が出てきました。一歩前進です。4月からは、パソコンを使って新しい学びが始まります。

そして、例えば、昨日の卒業式の予行では、6年生が録音した富士見丘小学校の校歌が流れました。録音ですが、実際その場で歌っている以上に、実に美しい、素晴らしい歌声でした。緊急事態宣言が解除されるまで練習すらできなかつたにもかかわらず、富士見丘小学校を大切する思いが、愛する思いが歌声になって伝わってきました。

卒業式の予行を見ていて、6年生は、ここにいるすべてのみなさんのあこがれ、目標であることが、本当によくわかりました。いい6年間を過ごしました。そして、素晴らしい伝統を残してれました。6年生のみなさん、本当にありがとう。

これからは、在校生がしっかり引き継いでくれます。特に、5年生は、そのたくましさ、何事にも意欲的に取り組む姿勢には、私は特に感心しています。もう富士見丘小を任せることができます。

今日で、今年度を終了しますが、今、代表の児童のお渡しした「あゆみ」には、この1年間をしっかりと過ごしてきた証として、「修了証」がついています。皆さんは教室で、自信をもって修了証を受け取り、次の歩みに進んでください。